

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

議会広報広聴委員会記録

平成 30 年 3 月 1 日(木)

15 : 10～16 : 20

議 会 第 1 委 員 会 室

- 【出席者】 小川委員長、川上副委員長、
三浦委員、沖田委員、西川委員、村武委員、笹田委員、芦谷委員、
田畑委員、澁谷委員
- 【事務局】 篠原次長、田中書記
-

議 題

- 1 市議会だより第49号の発行について
 - (1) 掲載内容、レイアウトについて(別紙)
 - ・レイアウトの修正あり
 - (2) 編集作業役割担当者一覧について(別紙)
 - ・レイアウトの変更に伴い修正
 - (3) その他
 - ・日程について確認
- 2 委員会への提案書について(別紙)
 - ・三浦議員より広報・広聴について提案説明があり、年間通して可能なことから実行していくことで決定。
- 3 平成30年度議会報告会について
 - ・3月15日の全員協議会で全議員に周知
- 4 その他
 - ・平成30年度行政視察について

日 程：5月28日から6月1日で調整

視察場所：長野県飯綱町、松本市、埼玉県さいたま市、静岡県富士市で調整

○次回会議 開催予定日：平成30年3月22日(木)

議 会 第 1 委 員 会 室 10 : 00～

【議事の経過】

〔 15時 10分 開議 〕

小川委員長	広報広聴委員会を開催します。本日主な議題は議会だより49号の発行に向けてになります。徐々に議会報告会も近づいていますので、それについても1つ確認が出来ればと考えていますので、ご協力をお願いします。
-------	--

1. 市議会だより第49号の発行について

(1) 掲載内容、レイアウトについて(別紙)

(2) 編集作業役割担当者一覧について(別紙)

小川委員長	議題1について。事務局から先に説明をしてもらいます。
田中書記	(以下、資料をもとに説明)
小川委員長	紙面の都合で陳情審査関係の記事が載らないということですが。澁谷委員。
澁谷委員	基本的に当初予算のあれに可決した事業の枠が狭いと思います。もう少し市民の方に説明するような体裁にしたいのと、陳情や反対討論等、載せることがあるなら、ほぼ載せてはいけないと思います。一貫性がない、哲学がない。こちらの都合で載せる・載せないを決めるなら、ほぼ載せないことにした方が良いと思います。こういう気まぐれな感じが一番許されない。
小川委員長	という意見がございしますが。恐らくページ数も業者の方との打合せで決まっているので、ページ数を増やすわけにはいかないということだろうと思います。そうするとどこかを削って入れていくのか……。
田中書記	増やすことは出来ますが、基本は16ページということで。
田畑委員	前は円グラフにしていたらう。
田中書記	そういう時もありました。
笹田委員	あれ分りにくいからやめようという話でした。
田畑委員	そうだったかな。
笹田委員	ページ数が増やせないなら先ほど澁谷委員が言われたように、可決した事業が少ないのであれば足しても良いだろうし、あとは陳情について載せるか載せないか決めてホームページの方を確認してもらうとか。
	あとここに三浦君が結構良いことを書いているから、これもしっかり議論して反映してあげたいと思いますが。
澁谷委員	常任委員会はこんなにスペース要らないと思う。今回は予算委員会がメインで、条例等の可決もないし常任委員会に割り振らなくても良いかなと。
笹田委員	元々、委員会の欄は基本書かなくて良いのではないかと思います。委員

	会で可決しても本会議で可決しないといけないなら、あまり意味がないかと。それならまとめて主要事業を何点かまとめて紹介する方が分かりやすいかなと思います。
田中書記	では2、3ページの見開きを使って、ということですか。
笹田委員	僕の意見ですか、はい。委員会ごとの詳細を載せても僕は見ないのではないかと。
芦谷委員	言うことは分かりますが、委員会主義なので大事な議論が出ればしっかり見せないと、なかなか良いことにならないのです委員会報告は。予算委員会等は良いと思いますが。常任委員会は少しコンパクトにした方が良くかもしれない、と思います。
笹田委員	議案が無い時があるでしょう。
田中書記	あります。
笹田委員	1つも議案付託されない時もあるんです。
小川委員長	ページを増やすとすれば4ページか。
田中書記	そうです。増やしたとして、予算が……。
篠原次長	もちろん今回増やしたら後から……。
田畑委員	ずっとしわ寄せがくる。
澁谷委員	これだけだったら処理できるけど、三浦委員の提案を入れようということになるとあれかもしれないけど、今は当初にして委員会を別にやればできると思います。
田中書記	個々で大見出し、小見出し、ここを入れるとかして、見開きでこう見たようにして、それで可決事業と主な事業をですね。
澁谷委員	たった4つしか市民に知らせる必要はないのだから。
田中書記	こちらのまず4ページ目くらいを予算関係にするとか。
小川委員長	ではページ数は増やさずにいきますか。多分委員会の方は各委員長報告をまとめたような形になっていますが、今までも無理やり埋めた部分もあるのでコンパクトにしてもらう前提で、今回は当初予算が主な記事なので、その辺を出来るだけ詳しく紹介できる流れということで、ページ数を増やさずに、従来の議会だよりよりは少し構成を変えて増やす所と縮める所とで調整するように。先ほど澁谷委員が言われた、陳情や反対討論があった場合に、これはやはり載せた方が良いですか。
澁谷委員	笹田委員が言われたようにホームページをご参照くださいという形で済むなら、ずっとそれで。だから載せる時と載せない時があるというのが、非常に思い付きのように感じられるので。
笹田委員	恐らく100件くらい出ますからね今後。出されたものを全部載せるとい

	うのは大変なので。今回も21項目載せようと思ったら……1ページ割く必要も出てくる可能性がある。
芦谷委員	陳情・請願はそういった配慮をしても良いと思うが、討論は載せておかないといけないと思う。
小川委員長	1つ書いて「他19件ありました」とか。
笹田委員	1件も書かず「何件ありました、ホームページをご確認ください」と。1つ載せたら「私のは載ってない」とかありますから。
小川委員長	そのようにしましょうか。
笹田委員	そうすればページがだいぶ割ける。
澁谷委員	田中さんが今出た意見を取り入れて、レイアウトもう1回やり直せばいいわ。正副委員長もおられるし。
小川委員長	また後で考えましょう。
澁谷委員	一貫性だけはお願いしたい。
小川委員長	そういう形でこれから先は、とりあえずご意見があればまた調整すれば良いと思います。
笹田委員	反対討論、賛成討論の意見もありましたよね。
小川委員長	それは載せるということで。特に意見が分かれる所を市民の皆さんは見られる場合が多いという意見を聞いていますので、そういう形で。
笹田委員	もう1点良いですか。この間もそうだったのですが、委員長さんに書いてもらうのは良いけど手直しが大変でしょう。
小川委員長	まあ、大変です。
笹田委員	絶対大変になるんです、委員長に書いてもらったら。だから、委員長報告を元を書くのは分かっているので、こちらで作った方がスペース調整もしやすいし手直しもしなくて済むので。
小川委員長	委員長に頼まないということですか。
笹田委員	委員長報告は委員長が作るので、それに基づいて作った方が。
澁谷委員	でも未だかつて、読むに堪えぬ文章しか書けないような委員長が委員長だという所は歴代ないよ。
小川委員長	それ言われたら皆さん歴代の委員長なので絶対言えませんけどね。
澁谷委員	でも今の感じからいくと、スムーズにしようと思えばその方が良いことになるよな。
笹田委員	先ほど言ったように議案が無い時だってあるので、その時は大事な話が多かった委員会にスペースを割くとか。
澁谷委員	自由に出来るよな。
芦谷委員	一般質問を出してもらった分を、こう直しましたという説明を連絡して

	あげれば、委員長も書いた人も気が付くと思うんです。ただ貰ったものをそのままこちらで勝手に直して、書いた本人さんはそのまま見られるから、うちで議論した編集方針みたいな所まで説明しなくても良いけど、こう直したということは言ってあげてある程度自覚を促して、委員長に記事を書いてもらいたい。
澁谷委員	自覚してないから分からずに出すんだ。
笹田委員	一般質問なら良いですけど、これ仕事が増えるんですよ。
川上委員	笹田委員が言われることは十分分かります。分かるけど、委員長が書いているので、書くということにして進めた方が良いと思います。その上で委員長に「私が書きますから」とすれば良い。
笹田委員	それは委員長は「やってくれ」と言いますよ絶対。
川上委員	言うでしょうね、それで良いでしょう。
笹田委員	委員長報告から抜き書きしてくれと言いますよ。
田畑委員	基本的には各常任委員会の委員長が書くべき。出せる物と出せない物があるとすれば、この委員会で校正せざるを得ないのかもしれない。その方が良いと思うよ。
小川委員長	広報広聴委員の方でもそれぞれ常任委員会におられますので、そこは担当委員長さんと話してもらいながらやってもらう方が。ただ、行数は今60ありますが、40で良いということですかね。3つの常任委員会は。
田中書記	そうですね。一応基本の行数は決めておいて、それより少なくなればそれでも可ということで。
小川委員長	今回は総務・福祉・産業は40行ずつにとりあえずしておいていいですか。
田中書記	一列とちょっとです。
	6段組ですか。予算は別のページに。
澁谷委員	何とかの条例を可決しましたと書いても分かりにくいからね。
笹田委員	おっしゃるとおり。
田畑委員	写真は使わないの。
笹田委員	写真を使えば40行くらいではないですか。
田畑委員	写真は一般質問の時には12行で見ているだろう。
田中書記	10行見えています。
田畑委員	特に会派代表質問等は写真を使わないと、文字ばかりになっても見やしない。
小川委員長	行数は計算すれば出てくるとは思いますが、そういう形で、1ページに3つの常任委員会を入れる形で。
田中書記	そうですね。

澁谷委員 小川委員長	任せるわ。 (1)はそれで良いとして、(2)についても先ほどの分でもよろしいですか。 (「はい」という声あり) あとはそれぞれ会派代表質問等についても締切等も書かれていますので、 それぞれの会派代表の方にお任せして。
笹田委員 小川委員長 田中書記 小川委員長 田中書記 小川委員長 三浦委員 小川委員長 西川委員	メールで流したら良いのでは。 そうか、会派の分は田中さんがメールで流してもらって。 はい。 個人もそうでしたね。 個人も、はい。 そういう恰好にすれば良いですかね。 後書きは私が書くんですか。委員長は書かれないんですか。 後書きは順番。最初だったから私で。次は。 裏表紙の編集委員の所ですが、役職は上に書いてある方が良いと思います。
小川委員長 田中書記 小川委員長	上の方が良いですか、では上で。 はい。 では(2)もよろしいですか。ないようでしたら次に移ります。

(3) その他

小川委員長 田中書記	その他何かございますか。 ないです。日程は見ていただけたら良いです。会派代表質問と個人一般質問が14日で、その他というのが委員会の審査経過原稿です。三浦委員さんに限りましては大変申し訳ないですが、表紙と表紙の紹介部分とたくさん原稿をお願いするようなので19日までということをお願いしたいと思います。
笹田委員 田中書記	22日は僕らは出なくて良いですね、正副委員長だけでしょう。 3月22日は委員全員と事務局のみで。4月4日も全員です。4月12日（木）は最終校正になりますので、正副委員長のみにします。 この度は業者がかわられますので、3月22日は業者はいらっしゃらないので委員と事務局のみとなっています。4月4日からは業者さんもおられますので。
澁谷委員 田中書記 澁谷委員	今までどちらでしたか。 原印刷さんです。 今度は柏村にかわるんだ。

田中書記	それは分らないです。
澁谷委員	益田より2倍くらい高いんだ。
田中書記	27日に入札があるので、それからうちの作った原稿をお渡しします。
小川委員長	では議題1はよろしいですか。 (「はい」という声あり)

2. 委員会への提案書について（別紙）

小川委員長	議題2ですが、三浦委員に提案書を作っていただきました。当初からそういうお話は伺っていたのですが出来るだけ早い時期に出していただいた関係で、議会だよりに反映できる部分は反映していければと思いますし、今後皆さんがこれは是非ともやっていこうという部分がありましたら。提案書を出していただいたんですが、私らこういうのを見ても不慣れで分かりにくいので、説明をお願いしたので少し時間をいただいて三浦委員から提案をしていただければと思います。よろしくお願いします。
-------	---

三浦委員	では説明させていただきます。色々と課題があるということで、ではどのように改善するかという敲き台なので、これが全て良いというものではありません。これを敲き台にして議論のきっかけにさせていただければと思います。
------	---

大きく分けて広報と広聴会のことについて2件書かれていまして、1つが広報について。議会活動と議員活動が見える化していくことが必要かなということで、広報も年に4回なので、その間何しているのかが分からないということが1つあるかと思います。なので切れ目のない広報活動をするのも1つのやり方としてあるかなと思っています。ここに1、2、3点、それを解消するためのアイデアとして書かせていただきました。

1つは広報自体を抜本的に見直す。メディアとしての在り方を検討する時に、議会で扱われている情報をいかに何が見える化してかつ分かりやすくするかを今一度議論する。読むものなので読み物としての質を高めるという意味では、まずはこのメディアをどのようなものとして市民へメッセージを伝えるのか、議会としてのメッセージを言葉化したり、それを言葉化することによって広報のコンセプトが決まってくるので、表紙とかやらせていただいているんですが、どういうものを表紙に持って行こうかということも考えやすくなったり、あとはタイトルを考えていくことも必要かと思っています。コンセプトが出来れば掲載情報も、もちろん定番でこれは必ず載せなければいけないというものがあると思いますが、例えば連載企画を新設してみて色々な形で、あきる野市もされていますが色々な市民との

対談を例えば委員会単位でやっていくような企画を持ち回りでやってみるとか。

あとは、次のページに出ていますのでめくっていただくと、あきる野市議会の広報、これ皆さん先輩方は視察に行かれて実際のお話をいただいているのでよくご存じだと思いますけど、こういう形の対談。

もう1つ、予算の見方等を分かりやすく解説するページということで。「知って納得ページ」というのがありますが、あそこの質をもうちょっと高める。浜田の色々な数字を統計的にまとめている資料を市で作られていますが、そういった所から仮に「Where /// money go?」というのは松江市が参加してやっているものですが、年収を全部自分で調整出来るんです。調整すると1日あたり何に対していくら自分の税金が使われているのかが見えるようになっています。このようなツールがあったりすると今の浜田市がどうなのか、予算配分とかも結構分かりやすくなるのかなと。これは見せ方の提案で、こういうのもあるかなということでご提案します。

あと冒頭に申し上げた「切れ目のない広報活動」ということを考えると、年4回の議会広報の間をどうするかが1つの課題になってくるかなと思っています。これ以上広報費は上積みできないということもあると思いますので、議会ホームページを上手く使って情報発信を小まめにしていくことが大事かなと。意見交換会をしていることとか、調査会とか、議長公務の状況ですとか、そういったものを出せる範囲で出していくことでも切れ目は少し解消されるかなと思っています。印刷費も編集費も、ブログを書くくらいのもので、テキストを書く程度のマンパワーと時間は少しかかりますが、この編集作業ほどのコストはかからないかと思います。

あとこれはご相談ですが、各議員の活動がどういうものかというのも、例えばウェブサイトをクリックしていくことでも情報量は増えるのかなと。これは議会とはちょっと違う、議員個別の活動になりますのでここは議論して欲しいと思いますが、一応書かせていただきました。

2ページほどめくっていただいて、これは広報の表紙なのですが、今回は子ども美術館さんに少し協力していただいて、子どもの制作活動の様子の写真や、もしくは作られた作品をお借りして子どもたちの可能性をこれから最大限に引き出すまちにしていくというようなメッセージを伝えるような形でどうかなと思っています。議員の個々の意見を言いにくい中で、できるだけ共通意識のメッセージをどのようにセットするかということで、子どもの未来という方向で考えました。

編集にあたっての部分は、編集後記を毎回委員皆で書いたらどうかなと

思っていました。皆で制作作業していますので、それぞれが各号においてどういう思いでそれを編集したのかとか、写真と若干のテキストですけど、それを書くだけでもかなり違って見えるのではないかと。これは次号で採用されるかは別ですけど、将来的にはこういうものもあっても良いかなとということで書かせていただきました。

あとは広聴会についてですが、確かに参加者が非常に少ない中で参加者を募っていくのは難しいと思います。意見聴取をする場もそうなのですが、毎回これまで議会のしくみをご説明されてきたということも伺っていて、議会のしくみを知っていただく、まちの予算や、まちがどのようにできているのか、どういう作業を我々がしているのかを、ゲーム性のあるコミュニケーションの場を設計することによって自発的なまちづくりの参画にも繋げるといった公聴会もあっても良いのかなと考えました。

1つ目、これはオリジナル版は熊本で始まったんですが、千葉や松江でもされています。ここにも書いてありますが、架空都市H市役所の部長に自分になりきって他プレイヤーと共に将来のゴールに向けて、色んな課題がカードで出てくるんですけど、自分がこれをやったら予算が限られているからできなくなる、といったことをカードゲームでやっていく。チームワークが必要なのでアイデアで課題を乗り越えていきましょう、といったゲームです。そのやり方は出来ているので、取り入れて市民とまちのことを考えてみるとか。あとはこれも似たようなものですが、予算カードを用いて予算削減体験をしていくという、これもまちの仕組みを学ぶゲームがあって、これ富士宮市議会でされていたと思います。こういうコミュニケーションを市民と取りながら、そこから出てきたアイデアや意見を政策提言に繋げるということをされています。この仕組みは東北芸術工科大学でコミュニティデザイン、人のコミュニティをどう作っていくかということを考えている学生が作ったゲームです。これも物があるのでそういうものを取り入れてやってみるというのも、これを政策提言に具体的に繋げている所が事例としてあるので、方法としてはあるかなと。

あともう1つは、模擬議会というもの。選挙権の年齢も下がりましたので、こういうのも良いかなと思っています。浜田のJ Cさんが昨年政策甲子園というのを実施されていますが、課題としてお話を聞くと最後の政策提言まで持っていけている感じではないとおっしゃっていたので、市内3校の提案を議場開放というのでもされているので、一般質問というか執行部とやりとりするような場をセットして。これは若者を対象にしていますが、そのように若者に対しての政治参画、まちづくり参画してもらうような意

識を議会で場を作っていく。広聴の意味を広く捉えれば、こういったこともありかなと。

最後裏面にカードゲーム、これはふじのくにカフェの物ですが、県議会ですね、このように壁面にカードがたくさんあって、こういうものをやります、やりますと1つずつ施策があって、予算はこういう状態をこれだけ削減しなければいけない、あなたは何をやめますか、というような。そこで自分が大事にしたり、これだけは譲れないものを確認していくという仕組みになっています。これは色々、広報公聴委員会で取り扱うべきものなのか直接公聴会と結びつかない所もあるかもしれませんが、話の敲き台としてご提示しました。

小川委員長

大変ありがとうございました。こうした斬新なアイデアというのはたくさんだと思えるので大変素晴らしい企画だと思います。最大限取り入れたいという印象を受けていますが、皆さんの中で分からない所、聞いてみたい所がありましたら是非ご発言をお願いします。この1年間かけてでも工夫して改善して良くなるという印象を受けていますので。

笹田委員

今度の新年度の6月からは、これでどういう形になるかを見せて欲しい。紙面割りが。

三浦委員

本来こういうレイアウト作業は業者がするものだと僕は理解しているんです。イメージをお出しするのはもちろん良いんですが、本来それも受託業務の中に入っているのではないかなと思うんです。こちら側の広報をこうしていきたいんだという意図をくみ取っていただいて、その案を業者さんから出してもらおう。それに対してこんな案が出てきているけどどうだろうかというのを、この委員会で揉んでいくというプロセスの方が良いかなと。作業としてテキストの編集も委員がやっていて、レイアウトも事務局がやっていて、実際に業者さん何やっているんだろうと実は前回すごく疑問に思っていて。それは提案してもらった方が良いのではないかなという思いが個人的にはありました。

田畑委員

今まで何年も……。

澁谷委員

自分らがやった方が安くなるならね。

田畑委員

値段は一緒だろう。

田中書記

データを渡してそれで上がってくるという形です。

田畑委員

間違っていたら間違ったまま印刷してくるよな。

芦谷委員

どういう契約内容になっているのかな。

田中書記

仕様書は6段組みで文字がいくらの綴りで、ということしかないです。

笹田委員

デザインを任せたらお金がたくさん取られるかどうか聞いてみたらいい。

田中書記 三浦委員	それは……そうかもしれませんよね。 だいたい相場ですよ、相場。1ページのレイアウトデザインはおおよそ2万から3万くらいです。これ16ページなのでデザイン費だけだと3万で見積もっても50万以下です、通常だったら。50万でデザインしてもらえるんですよ。だからそれ入っているのではないかと思って。
澁谷委員 田中書記 三浦委員	1回の費用いくらなの。 印刷込みで120万くらいです。 おおよそのレイアウトが決まれば、4回分でならせば50万を4で割って1回分12万くらいのデザイン負担なので、そうすると残りの百数十万で印刷しているということになるんですよ。
芦谷委員 澁谷委員	それと穴あけオプションもあるよな。あれ案外とかかるんだ。 昔、委員長の時に調べたんだけど、浜田は益田に比べて2倍くらいかかる。何故かと言うと、それを調べていくと、益田は広報ますだと一緒にしているから安く作っているのだと言い逃れをするのだ。浜田の場合は年々変えるでしょう。広報はまだと一緒にっていないわけだ。だからそれで言い逃れされたことがある。でも結果的に紙代や印刷代というのは、今は技術革新がすごく進んでいるから、そんなに。逆に沖田君の所みたいな放り込みが一番高いはず。
笹田委員 田畑委員 三浦委員 田中書記 三浦委員	九州に行った時は十数円だったよね。 そうそう、嬉野だったかな、17、18円だ。 これ何部刷ってましたか。 大方約2万5000ですね。 多分印刷費、概算なので分かりませんが、下手したら5分の1とか4分の1くらいで済む可能性があります。
澁谷委員	それが難しいのは、浜田以外の業者に発注した方が良いのかどうかは極めて問題なんだ。広島にやったらもっと安くなる。それはそうだ。
笹田委員 三浦委員 澁谷委員 田畑委員 澁谷委員 田畑委員 田中書記 澁谷委員 芦谷委員	今度はガチで入札にしたらどうですか。 だからせめてデザインをやってもらっても……。 オールカラーだった気がする。 嬉野なんかオールカラーだからな。 浜田みたいに表紙と裏表紙だけカラーというのが珍しいくらい。 また480万くらいだろう。 そうですね。 本当は篠原次長が交渉してくれればいいが、交渉が苦手なんだ。 だけど会社には色々あったり悪い意味で影響するからな。

澁谷委員	まあ他で便宜を図っているからこれは何とかという感じなのかもしれないが。
田畑委員	ふるさと企業の育成というのはしてあげないといけない。どうせ浜田について回るから無茶なことを言ってはまずいと思うよ。
川上委員	金額聞いたらびっくりするよ。
笹田委員	デザインくらいは言っても良いよね。
三浦委員	そう思いますよ。
芦谷委員	私が良いなと思ったのは、広報は4回でしょう。あとは無いんだよね。市の広報の間に2ページほど、市議会だよりの別版を入れてもらって、その中には視察に行った、視察に来てもらった、議長がどこに行ったというのを紹介すれば、ずっと毎号市民に伝わるんです。これは良い提案だなと思って。それは是非すれば、年4回ぽっきりよりも毎号毎号市議会の話題が目に入るというのが良いと思います。
田畑委員	市報は今どこがやっているのか。
田中書記	市長公室です。
田畑委員	それを言えば1ページ分の金を取られるよ。そういう話があったからやめたんだよ多分。
芦谷委員	それは話し合いだと思います。こちらで責任原稿を作って、その代わりその分の広報に合わせるようにちゃんと入れて上げて、向こうで上手いこと輪転機に回してもらって、ということが出来るよな。
田畑委員	あなたが交渉に行ってきたさい。
芦谷委員	年4回しか広報が出ないよりは、毎号あれば議会の情報が分かって良いと思うんです。
田中書記	市報は毎月出ていますが締切が早いんですよ。だから予定とかどなたが来たといった話はなかなか……。
田畑委員	これ入れるスペースあるかな。これは三隅町議会の時に町議のレベルでこれやったんだよ。浜田市なら395億5000万円のうちの健康福祉に1日あたりいくら使った……。
笹田委員	当初予算の時にですか。
田畑委員	うん。あれは結構、こういうのを見ると納得する。
田中書記	これ広報はまだの方でも。
田畑委員	もっといい具合に。
澁谷委員	三浦さんのこの提案やレイアウトは相当レベルが高いから、私らはっきり言ってもう発言力無い。発言する資格がないが、このゲームは1回やってみないといけないなど。

	次の議会報告会はどうするかは、1回どこかで打合せしないといけない。
田中書記	この号から出来ることとすれば駄目ですか。キャッチコピーとか。議会としてのメッセージを伝えるということで。
澁谷委員	やってみたらいいじゃない。この表紙等はこのページを見るだけでちょっと私に発言力はないなと。
田中書記	このキャッチコピーというのは毎回同じですよ。決めてしまうということですよ。
小川委員長	そういう発想がなかったんだけど、これだったら多分これがいい、毎回毎回……。
澁谷委員	写真等を毎回こうして大胆に使われるのすごい。
芦谷委員	ちょうど年度替わりだから、もしあれだったら紙面を少し変えるというのは今がチャンスです。
澁谷委員	よし、次いこうや。職員の人も待っているし。
小川委員長	これはもうこれで、基本的にはこれでいくということで良いんでしょう。
田中書記	表紙はこれで良いと思います。
小川委員長	ただ、ここまで今回やるかどうか。（P16を指して）
田畑委員	それはしないのでは……。
澁谷委員	でもこれもすごくレベル高いよ。
笹田委員	やろう、これ採用しよう。採用。全員でやろう。
田中書記	ではここも変えた方が良いでしょう。
笹田委員	コメントぐらいの文で良いんでしょう。
三浦委員	そうですコメントが良いです。
澁谷委員	そこをやる時には皆私服着て来てもらわないといけない。
小川委員長	ではこれもやる方向で。レイアウトや業者の関係は、また業者が決定してから、幅を探りながら向上してみようということで。もし次号で取り込んで出来そうな所があればですが、このくらいで良いですか。もしここはこれで行こう！みたいなキャッチフレーズがあればですが。
田中書記	「市議会だより」は付けるんですかね。
小川委員長	何かやりたいアイデアがあればお願いします。間に合いますので。
	では、議題2についてはこれでよろしいですか。できるだけこういう形で進めていければと思います。

3. 平成30年度の議会報告会等について

(1) 班編成・日程について

小川委員長	議題3についてです。班編成について正副委員長で色々と検討して決定
-------	----------------------------------

	しましたが、ああいう形で今回はお願いできればと思います。全体的なバランス等も考えて作成したので提案させてもらって、問題もなかったと思うので、その日程で進めさせていただこうと思います。班編成と日程を再確認いただくようお願いします。 進め方なんですけど少し日にちがありますが、皆さんで集まって全員協議会の後に班ごとに分かれてというのは、出来るかどうか今後の日程にもよりますが、一応班編成が決まっていますので各班長の方を中心にして、班ごとに中身を相談していくというのはどうですか。皆が集まる時といえは今度の全協の時くらいしかないんですが。
笹田委員	予算委員会は。
小川委員長	予算委員会も集まるか。予算委員会が早く終わった後等に調整が出来ればですが。
澁谷委員	骨組みをこちらから提案して出来れば。
小川委員長	特にテーマを決めるとすれば当初予算の中身や議会の中身等……。
澁谷委員	最初の30分は予算を中心に報告しますよ、その後に意見交換をやりますよとか。大まかにはそれで良いと思います。意見交換を1時間予定していますとか。その内容については委員長が言ったように、各班で検討してくださいと投げかければ良いし。
笹田委員	パワーポイント使いますか。
小川委員長	使う方向でどうだろうかと思うのだけど。土台は今度の議会だよりを基本にして。
芦谷委員	副議長が言われたように議会だよりを使うんだったら、パワーポイント1回作るよりも議会だよりでやった方が良い気がするんだけど。
田畑委員	旭みたい会場に50人来れば50人分の市議会だよりを持って行かないと。
澁谷委員	予備は100冊も200冊もあるよ。
笹田委員	最初から、持参してくださいと言っておけば良いんじゃない。
田中書記	昔やっていたみたいなんですけど。持参してくださいと。
芦谷委員	もしあれなら必要な所だけ白黒で印刷しても良いよ。
田畑委員	あとは班で話をしてもらおう。
小川委員長	中身についてはね。あとは共通で使う資料ですよ。正副で話した時には、パワーポイントを使うのだったら議論が過熱したような動画をここに挟んだらどうかという話もしていたんですが。
澁谷委員	動画が作れる技術がないでしょう。
笹田委員	前の話を聞きたいと思っていませんから。川上委員に聞いたらく分かりますから。

澁谷委員	班に任せようよ、その1時間については。説明は議会だより中心に渡しますのでそれを説明してくださいと。残り1時間どうするかは班で相談してくださいと。ある程度宣伝するためにはテーマを決めて欲しいんだよね。
田中書記	それは今のところ考えていなかったんですけど。前はしたことがあります。
小川委員長	最初30分説明する資料はこちらで何とか考えて準備するという事で。あとは各班で班長を中心にして皆さんで相談していただく。
澁谷委員	それを模造紙に書いて後で発表したといった年もありましたよね。
小川委員長	あれはワークショップでした。
澁谷委員	そういうのは班に任せようよ。
小川委員長	そういうのがやりたい班はやると。
田中書記	市議会だよりを使うのではなくて、資料はこちらで作るということですか。
小川委員長	市議会だよりを持参してもらって、部分的に作る。
澁谷委員	だいたい期数の若い人がメインになってやるのがだいたい通例だよね。活躍の場を持たそうという。そうしないと期数の多い人間がでしゃばって全部喋るわけだ。そうになってしまうとせっかくに機会もなくなるから。
笹田委員	司会の腕が要りますよね。しゃべりを止めるの大変ですもんね。説明は新人さんにやってもらっても良いけど。
村武委員	何を説明するんですか。
澁谷委員	今回の3月定例会においてはこういう事業が可決されましたとか。
村武委員	そういうのが各班でだいたい言うことが決まっているんですか。班ごとに決めるんですか。
澁谷委員	だいたいメインの事業は市議会だよりに載るから。
村武委員	統一、皆で決めるんですか。こういうことを言いましょうということを皆で決めるんですか。
澁谷委員	班で村武さんが考えるんだな。
村武委員	いやいやだから、それがちょっとどうなのかなと思うんですが。
澁谷委員	ここで選んだものを選べばほとんど間違いない。
村武委員	それを言う人が選ぶんですか。
澁谷委員	それは班で審議して、これにしましょうと言えればそれになる。
小川委員長	そういう形でやってくださいと班長さんに伝えるだけで良いですか。
田中書記	3月15日の全協でこういうようにするというのを、皆さんの前で言っただいて。
田畑委員	全協で配る？

田中書記	これは議運で1回配って、この場で配っていますので、他の皆さんには議運の資料として渡っていると思います。
笹田委員	前も言いましたが、僕はその後が大事だと思うんです。市民の意見を聞いた後にその意見をどう還元するかは統一しておかないと。聞いてどうやって還元するかですから。ホームページで還元するのか、議会だよりに掲載してあげるのか。ここ数回やってみて、説明より聞く方が大事だと思っているので。
澁谷委員	執行部に出して執行部から回答を貰ってホームページに掲載したりとか、やりましたよね。
川上委員	当時、明らかに答え聞いてあれしていますので、非常に嬉しかったと思っています。だから絶対返してくれないと、大事だと思います。あんたのはもう伝えたからなと言ってくれたから、やっぱり言ってくれるんだなと思ったから。
田畑委員	意見交換した中でそれぞれの地域の課題を一般質問に反映してない人がおられるから、それが一番問題だろう。一般質問で言ったからといって出来るとは限らないけど、その声を伝えてないというのが問題だと思う。簡単なことは向こうも言わないから。大変な難題しか言わないけど。
笹田委員	答える時はそのまま議会として答えれば良いだけの話で。個人的に聞かれて答えられるなら良いなら良いんでしょうけど。
澁谷委員	予算がつかないからね。
笹田委員	そこは統一しておいた方が良いでしょう。
澁谷委員	いつも役割の中で、報告者がいますよね、報告者の方が意見をきちんと提出して……議長が決定するのかな。1回ここで揉むんだったかな。
田中書記	報告がでましたら、ここでも一応皆さんに出たものを全部お見せして、整理して結局また正副でまとめたりしました。それで執行部に下ろしました。で回答いただいたものをホームページ等に掲載しました。議会だよりにも載せたりとか。
澁谷委員	今日このくらいにしようや。
芦谷委員	報告があがった段階でその辺の方向付けもきちんとしたら良いんじゃないですかね。
澁谷委員	職員をもう1時間も待たせているから。
小川委員長	分かりました。ではそういう形で、15日の全協の後にでもお時間を取って報告してお願いをする形で進めたいと思います。議会報告会については以上で置きまして。

4. その他

小川委員長	その他何かございますか。
芦谷委員	行政視察について、一応お手元の資料にありますように4ヶ所ほどピックアップしてみました。
田中書記	すみません資料ないです。
澁谷委員	日にちだけ教えて。
芦谷委員	長野県飯綱町と、長野県松本市と、埼玉県さいたま市、静岡県富士市、4ヶ所あるんですがこの中で前後しながら……。
澁谷委員	ああ全部任せるから。
芦谷委員	日程を決めていただければ……。
澁谷委員	だから日にちはいつからいつ。
田中書記	日にちを一応、5月の28から30の所で予定したいと思います。
小川委員長	月火水ですね。
田中書記	はい。
芦谷委員	6月議会は。
田中書記	まだ決定ではないですが、飽くまで予定です。
芦谷委員	一応5月28から、6月1日までの所までで少し柔軟に調整したいと思います。
澁谷委員	その5日間を空けておけと。
芦谷委員	よろしいですか。
澁谷委員	ああ良いですよ。
芦谷委員	もう1点。幹事のもう1人を提案いただいた西川さんにしてもらおうと思うんですがよろしいですか。
	(「はい」という声あり)
芦谷委員	ということでお願いします。
小川委員長	では以上で広報広聴委員会を終わります。

[16時 20分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 小川 稔宏 印